JA全農ぐんま

全力結集で挑戦し、未来を創る

県本部通信 Monthly Zen-noh Gunma

1
2021 January
No.224

Contents

事業のうごき
新年のご挨拶
インフォメーション
農業チャレンジャー
JAピックアップ！
アートクッキング
花木流通センター便り

わらアート“わらべこ”
利根郡みなかみ町

みなかみ町のたくみの里周辺では、里山の散策を楽しんでもらおうと、わらアートの展示が行われました。今年の干支の牛「わらべこ」は、高さ４m、幅６mほどの迫力あるわらアートで、訪れた観光客は年賀状用にと写真を撮りながら散策を楽しんでいました。ほかにも「アマビエ」や「わらシシ親子」など８体が展示されました。

農とあゆむプロジェクト
私たち全農グループは、生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
■ 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
■ 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
■ 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき

営農支援部

◆担い手支援課

○TAC活動等ＪＡの出向く体制強化支援

○大規模経営農家・法人等の事業支援

◆生産対策課

○ＪＡ野菜振興計画の目標達成に向けた取組支援

○農産物の安全・安心確保対策

○園芸作物生産実証農場の運営

畜産農産部

◆酪農畜産課

○生乳計画生産の推進

○初妊牛導入推進

○素牛導入推進

○種豚導入推進

○渋川家畜市場の和牛及び乳用牛の集荷・販売推進

◆米麦特産課

○令和２年産大豆集荷推進

○令和２年産民間流通麦契約推進

○令和２年産民間流通麦引取推進

○令和３年産民間流通麦契約面積播種推進

○こんにゃく荒粉・精粉販売推進（入札の実施）

園芸部

◆園芸販売課

○共計ほうれん草販売　（周年）

○共計チンゲンサイ販売　（周年）

○共計味にら販売　（周年）

○共計下仁田ねぎ販売　（１月末日迄）

○共計上州ねぎ販売　（２月末日迄）

○共計春菊販売　（３月上旬迄）

○共計土ねぎ販売　（３月中旬迄）

◆販売促進課

○秋冬野菜販売促進

○もやし類・加工野菜販売促進

○花き販売促進

◆園芸資材課

○春用出荷資材予約推進
（ほうれん草・きゅうり・ふき他）

○低コスト段ボール
（ＡＫライナー・ショートフラップ化）推進

○来年度産青果物段ボール予約推進

○温床資材予約推進
（農ビ・トンネル資材・こんにゃくマルチ他）

○春まき用野菜種子推進
（ほうれん草・枝豆・とうもろこし他）

○種馬鈴薯納品

生産資材部

◆肥料農薬課

○セルフブレンド推進

○蒟蒻肥料農薬推進

○茎葉処理除草剤大型規格推進

○バンカーシート推進

○果樹農薬推進

◆施設住宅課

○賃貸アパート・個人住宅推進　（周年）

○カクイチ物置・広スペースハウス推進　（周年）

○住友不動産（株）「新築そっくりさん」推進　（周年）

生活燃料部

◆生活課

○太陽光発電・蓄電池推進　（周年）

○シロアリ防除事業推進　（周年）

○仕込み味噌推進　（10月～３月）

○蔵出しいよかん・せとか・木熟ポンカン推進
（１月～２月）

○2021年度頒布会「旬鮮倶楽部」加入推進
（12月～２月）

◆葬祭総合課

○会員獲得募集の推進

◆石油課

○ＪＡ－ＳＳ冬の大感謝祭　（12月～１月）

◆ガス課

○給湯器燃料転換推進　（５月～２月）

○ガス・でんき新規獲得推進　（10月～３月）

新年のご挨拶

新春のお慶びを申し上げます

令和３年の新春を迎え、皆様の御健勝をお祈りいたしますとともに、全農群馬県本部を代表いたしまして年頭の御挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大により、東京オリンピック・パラリンピックが延期され、かつてない脅威に今なお見舞われております。昨年９月に本県で発生したCSF（豚熱）など家畜伝染病に対して防疫対策を徹底することの大切さや、近年多発している自然災害の猛威を痛感する１年でありました。新しい令和３年が、災害のない実りの多い平穏な１年になることを願うばかりです。

私たちは、生産者が心を込めて生産した安全・安心でおいしい農畜産物を、皆様に手に取っていただけるよう、本年も全力で取り組んでまいります。

日本は先進国の中でも突出した食料輸入国です。すでに発効している環太平洋連携協定（TPP11）、欧州連合（EU）との経済連携協定や日米貿易協定、昨年合意した地域的な包括的経済連携（RCEP）などの国際貿易交渉が進展し、日本農業はかつてない市場開放の時代を迎えています。

農産物輸入の多くを特定の国に依存することは、世界的な異常気象や紛争、輸入先国の輸出政策の影響を受けます。

国連は「持続可能な開発目標（SDGs）」実現の担い手のひとつとして協同組合を位置づけていますが、皆様へ安全・安心な国産農畜産物を継続してお届けするためには、国内農業の生産基盤強化が必要です。

私たちは、持続可能な農業生産基盤を確保し、群馬県産農畜産物の生産拡大に取り組むとともに、生産コストの低減と付加価値の向上を通じて、農業者の所得増大に取り組んでおります。私どもの３つの基本目標である「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」を目指し、ＪＡは農業者のための協同組合であるとの原点に戻って、取り組みに邁進してまいります。

皆様の御支援と御協力を賜りますよう、本年もよろしくお願い申し上げます。

全国農業協同組合連合会　群馬県本部
運営委員会会長　**唐　澤　透**

JA邑楽館林邑楽支所竣工式

11月19日(木)、JA邑楽館林邑楽支所竣工記念式典が執り行われ、JA役職員や工事関係者、設計監理を務めた当県本部関係者等約60人が出席しました。新支所は支所再編計画の第３号店舗で、邑楽町の長柄支所、中野支所、高島支所の３支所を統合しました。

JA邑楽館林の江森組合長は「西邑楽エリアの営農経済の拠点施設『あぐり西邑楽』とも連携を取り、さらなるサービス向上を図り、組合員・地域の皆さまに必要とされ信頼していただけるよう努めてまいります」と挨拶しました。

ふれあいジュエリー展2020

生活課は群馬県JA生活・葬祭総合推進協議会と共催し、11月20日(金)と21日(土)の２日間、高崎市内の特設会場で「安心と信頼」をテーマにふれあいジュエリー展を開催しました。コロナ禍でイベントの中止が相次ぐ中、県内JAに協力いただき招待状形式で実施しました。会場では、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、ネックレスや指輪など約2,500点の商品が取り揃えられ、多くのお客様にご来場いただきました。リフォームの無料相談やクリーニングなどもあり好評でした。

ぐんまのきのこスペシャルマッチ

群馬県きのこ振興協議会は11月21日(土)と22日(日)に、ヤマト市民体育館前橋で開催された「ぐんまのきのこスペシャルマッチ」群馬クレインサンダーズ対茨城ロボッツ戦の冠スポンサーを務めました。地元バスケットチームのスポンサー協力を通じた地域貢献と、県産きのこの安全・安心を周知し、コロナ禍で落ち込んだ消費を喚起することを目的としています。会場では、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、生しいたけや舞茸などのきのこ類1,000人分ときのこ汁約400食分を各日用意し、無料で配布しました。また、22日の試合前には、園芸販売課が「ぐんまのきゅうりを食べよう！」と題した消費宣伝を企画。先着500人に感染症対策を講じて群馬県産きゅうりを無料で配布しPRしました。

ジャンボ生玉コンテスト

11月24日(火)、群馬県蒟蒻生産協会主催の第25回群馬のこんにゃくは日本一だんべ！ジャンボ生玉コンテストが総合センターで開催されました。このコンテストは、こんにゃくの知名度を高め、消費拡大につなげようと1995年から開催しています。今回はこんにゃく芋14点が出品され、審査員は重量・バランス・栽培技術等を総合的に評価しました。最優秀賞の「横

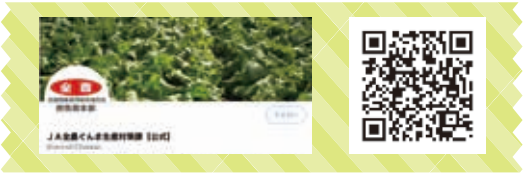
綱」には、32.46kgを記録した三木俊夫さん（JAたのふじ）の「みやままさり」（４年生）が選ばれました。

JA邑楽館林SNS研修会

酪農畜産課は12月９日（水）、JAビルでSNS研修会を実施しました。この研修会は、JA邑楽館林が次世代を担う職員を育成するための「次世代リーダー育成研修会」の一環で、当県本部でいち早くSNSに取り組んだ酪農畜産課が研修依頼を受けて実施したものです。JA邑楽館林の研修生等５人が出席し、酪農畜産課公式Twitterの坂本担当が講師となり、事前に提出された質問事項を説明しました。立ち上げ時の流れや効果の見方など活発な質疑応答が行われ、今後のSNSを活用した事業PRが期待されます。

生産対策課公式Twitter開設

生産対策課は、2020年12月から公式Twitterを開設しました。群馬の農業や青果物の情報など様々な情報を発信していきます。是非、ご覧ください！また、Twitterアカウントをお持ちの方は、是非フォローや投稿のシェアをお願いします！



農業チャレンジャー

農チャレ

1キュウリを収穫する今井さん。ハウス内は16℃に設定し、炭酸ガス濃度は400ppmを保つようにしているそうです。

2出荷調整作業をする今井さんのお母さん。

現状を保ちつつ できることを一生懸命に

JA甘楽富岡管内 今井 哲也さん

JA甘楽富岡

\ Profile /

今井 哲也（いまい・てつや）さん

1980年生まれ　40歳
JA甘楽富岡施設園芸部会・
インショップ・高瀬青壮年部

栽培品目：
施設キュウリ …… 約40a
露地キュウリ …… 約17a
サニーレタス …… 約15a

趣味：ドライブ・ヨガの精神を学ぶ

―今回の農業チャレンジャーは、ＪＡ甘楽富岡管内の富岡市内匠で、キュウリとサニーレタスを生産する今井さんです。

―就農時期は？

2009年４月に就農しました。大学を卒業して東京で働いていましたが、実家に戻り就農して11年目になります。

―就農のきっかけは？

両親から農業を継いでほしいといわれたことはありませんでした。叔父や叔母に勧められ、一から始めるわけではないので設備投資の必要がなく、妻も賛成してくれたことから、就農を決めました。

―就農されていかがでしたか？

本格的に農業を始めて、農業の大変さと両親の苦労を知りました。

―年間のスケジュールを教えてください。

キュウリは年に２回植え付けをしています。1/10頃に植え付けて６月までの収穫と、８月のお盆前後に植え付けて12/20頃までの収穫です。父が管理するハウスの抑制キュウリは少し早めに収穫を終え、12月初めからサニーレタスの生産を始めます。

―ハウスの管理を分けているのですか？

最初は父に教わりながら同じハウスでキュウリの栽培をしていましたが、勉強会などで栽培方法を学び、３年くらい前に環境制御や炭酸ガスの装置を取り入れ、それぞれのやり方で管理するようになりました。父は時々私が管理するハウスを見に来てアドバイスしてくれます。

―多い時で１日どれくらい収穫しますか？

天気によりますが、６月中旬頃7,500本程収穫しました。たくさん収穫できる時期は値段が安いですね。

―心掛けていることは？

できるだけ新鮮なまま出荷するように心掛けています。毎日インショップ用と市場用をそれぞれ出荷しますが、イボを落とさないように収穫し、鮮度を保つため冷たい風に当てないように注意しながら出荷調整しています。

―今後の展望をお聞かせください。

妻がヨガとエアロビクスのインストラクターの仕事をしていて、私もヨガの哲学的なところを少し勉強しました。それによると欲を出してはいけないと学びました。現状を保ちつつできることを一生懸命行い、気候風土に合った栽培方法に取り組んでいきたいと思います。

―熱心に栽培技術を学び、今できることに着実に取り組む今井さんに、今後さらなる活躍が期待されます。

JA PICK UP！

JAの活動をご紹介　JAピックアップ！

JAはぐくみ

ネギ拡大へ 収穫機を実演
JAねぎ部会 現地研修会

▲ 収穫機の性能を確認する参加者

JAはぐくみねぎ部会は11月17日、高崎市箕郷町のほ場でネギ現地研修会を開きました。生産者ら約30人が参加し、栽培管理や病害虫防除のポイントを確認。収穫機や管理機の実演も行われ、参加者は今後の効率化を見据えて熱心に見入りました。

研修会ではまず、研修会場を提供した生方忠義さんが、栽培状況や作業経過を説明。続いてJA全農ぐんま肥料農薬課が、黒腐菌核病などの防除対策を解説しました。

またヤンマーアグリジャパンが、植え付け時の溝堀りや土寄せを行う専用管理機と、１条掘りの収穫機を実演。収穫機は畝崩しや掘り取り、搬送、土落とし、収束・結束の五つの工程を一連の流れで行い、収穫作業を大幅に軽労化できるもの。参加者は気になる点を質問しながら、機能や特性を確認しました。

JA利根沼田

あんぽ柿の燻蒸、乾燥作業始まる

▲ 燻蒸した柿を自然乾燥させる現場

利根沼田の中部柿部会による柿の燻蒸作業が11月上旬から20日頃まで行われました。燻蒸後、１か月半ほど自然乾燥させた柿を袋詰めし、「あんぽ柿」として出荷されます。

燻蒸は皮をむいた柿に硫黄の燃焼によって発生する亜硫酸ガスを吸収させる作業で、硫黄燻蒸とも呼ばれます。効果として、黒変を防止・乾燥の促進・カビの発生抑止が期待されます。

同部会の中でも燻蒸作業を行っているのは少数で、そのうちの一人である芝崎新吉部会長は今年で５年目となる柿農家。柿の生産から燻蒸、製品化、販売までを一貫して行い、毎年約7000個の柿を出荷し、「目標は１万個、それが達成できたら２万個」と芝崎部会長は意気込みました。

あんぽ柿は12月下旬から２月下旬頃にかけて、沼田市のJA利根沼田直売所食彩の森や尾瀬市場利根町本店、JAファーマーズ野田宿店で販売する予定です。

JAみどりの風 放映予定

※タイトル・放送内容等は変更となることがあります。

GTV 3ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時　間
全力青年！ 2021／JAたのふじ	1月11日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※1月17日(日)	AM 8:00～ 8:30
邑美人と職員に密着（仮）／JA邑楽館林	1月18日(月)	PM 9:00～ 9:30
	※1月24日(日)	AM 8:00～ 8:30

能登　瑶子アナ

Art Cooking

即席ベクキムチ

Food adviser **石垣 惠美**

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。

材　料

２人分　　（１株分146kcal）

白菜の塩漬け……1/8株
ニラ……15g
柿……1/2個

A
- 干ししらす干し……大さじ1
- りんごすりおろし……1/5個
- ニンニクすりおろし……1かけ
- 一味唐辛子……小さじ1.5
- コチジャン……小さじ1.5
- 塩……適量
- ごま油…小さじ1（隠し味）

作り方

1 白菜漬けは洗い、１㎝幅に切る。きつく水気を絞る。

2 ニラは洗い１㎝の小口切りにする。柿は皮をむき千切りにする。

3 ヤンニョムを作る。ボールに**2**と**A**を入れてよく混ぜる。（ごま油を隠し味で加える。）

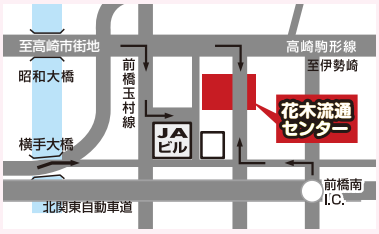
4 **3**によく水気をきった白菜漬けを入れて、混ぜる。（辛さは一味唐辛子で調節する。）炒め物やチヂミ、玉子焼き、鍋ものに入れてもよい。

花木流通センター便り

KABOKU
花木流通センター

JA 新鮮ぐんま みのり館

営業時間 9:00～16:00　6月～2月 毎週火曜日定休



前橋市亀里町1307-1
TEL027-220-2427 FAX027-220-2424

二段熟成 横名十文字うどん®

新鮮ぐんまみのり館内
営業時間▶11:00～14:00　定休日▶毎週火曜日

JA全農ぐんま 酪農畜産課 Twitter

JA全農ぐんま 生産対策課 Twitter

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて
『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。
《あて先》〒379-2147 群馬県前橋市亀里町 1310 番　JA 全農ぐんま「県本部通信」係まで
E-mail：info-gunma@gm.zennoh.or.jp ※JA メール等でも結構です。

□発行／令和3年1月1日発行　□発行人／高田　宗徳　□ホームページアドレス／https://www.gm.zennoh.or.jp　□E-mail／info-gunma@gm.zennoh.or.jp
□発行所／全国農業協同組合連合会群馬県本部　管理部企画経理課　〒379-2147 前橋市亀里町1310番地　TEL027-220-2223　Fax027-220-2229

R100 古紙配給率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOYINK この印刷物は大豆インキを使用して制作しています。